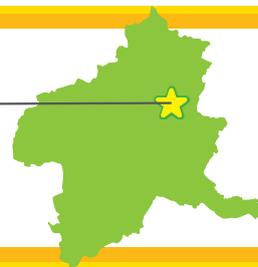


子育て支援で明るく発展した市を目指す！

和い輪いくらぶ

沼田市



子どもの遊び場とママ友を作る地域住民交流の場

●活動内容

「自然は豊かだが、児童館のない沼田市は子どもを遊ばせる所が少ない」という、転勤してきた人たちの声を聞き、若い世代の定住が課題だった沼田市で、「市内で子どもたちが集まる場所を作り、子育て支援を行おう」と、主任児童委員が立ち上がった。会議を重ね、他市町村の子育て支援事例を見学するなどして、平成17年に、和い輪いくらぶを設立した。

子育てサロンとして、毎週金曜日の午前10時から12時まで活動している。4歳までの子どもと母親たち40～50組が参加し、ボランティア15名が交代で、指遊びや紙芝居など、子どもたちを楽しませながら親と一緒にふれあう。

住みやすい町には若い世代が定住してくれる。そして、子育てサロン事業は育児に悩む若い母親たちが集える場や、子どもの遊び場を提供することにより、子育て支援を通した明るく住みやすい町づくりに、一役買っているのである。

●工夫している点・特長

沼田市社会福祉協議会より補助を受けており、参加費は無料。また、子どもたちのおやつや、親への飲み物も提供している。

このサロンで「ママ友」を作る母親の姿もあり、幼い子どもを持つ世代の「憩いの場」となっている。また、

チラシを配布するなど、新たな参加者も募集して友達作りやすい工夫もしている。お雛様や鯉のぼり、七夕など季節の行事では、みんなで作品を作る。

自分の孫が大きくなり、時間を有意義に使えるシルバー層ボランティアが、今では同市にはなくてはならない集まりの場を提供している。



〈やりがい・楽しみ〉

「子どもたちのニコニコした笑顔に接して、私たちも元気をもらい若返る感じです。自分の孫と遊んでいるようで、本当に楽しい」と語るのは60代のボランティア。「私たちに会うと『和い輪いのおばちゃん』とうれしそうに言ってくれて、感無量です。孫が沢山できたような楽しい時間は、とても有意義。これからも長く頑張りたい」と、やりがいを感じている。

また、親から育児相談を受けることも。そんな時、良いアドバイスができるのも、子育てのベテランのシニア層ならではのだろう。

基礎データ

☎0278-22-1990

社会福祉法人 沼田市社会福祉協議会

事業開始時期／平成17年

主な活動／子育て支援・相談など

人数・年齢／15名 50～70代

実施主体／和い輪いくらぶ